

## 1 調査の目的

温州みかんの収穫果実の病害虫被害状況を調査し、当年の病害虫発生状況を的確に把握することで、防除暦作成や防除指導の参考にする。

## 2 調査方法

### (1) 対象産地

諫早市多良見、西海市西彼、大村市、雲仙市瑞穂町、佐世保市針尾

### (2) 対象農家

各産地の防除暦に準じた防除を行っている生産者1地区3名を選定した。

### (3) 調査対象品種

早生温州で各産地の主要な品種（原口等）

### (4) 調査時期

平成30年11月14、16日

### (5) 調査項目

そうか病、かいよう病、黒点病（前期型、後期型）、灰色かび病、すす病、ヤノネカイガラムシ、ナシマルカイガラムシ、アカマルカイガラムシ、訪花性害虫、チャノキイロアザミウマ（果梗部、果頂部）、ハナアザミウマ類、サビダニ、ハダニ、カメムシ、風ずれ、その他

### (6) 調査方法

1生産者あたり200個の果実を任意に抽出して病害虫の被害状況を肉眼により観察した。ただし、調査対象は家庭選果前の果実とした。

調査は被害程度別に行い、調査項目ごとに被害果率、被害度を算出した。

## 3 調査結果及び考察

### (1) かいよう病

被害果は全調査園で発生を認めなかった。昨年は接近した台風が比較的多かったが、園内に（一次伝染源となる）古葉の被害葉が少なかったことが要因として考えられた。

### (2) そうか病

全調査園中1園地で認められ、平年並の発生であった。要因として、主な感染時期である4月上旬の降雨が少なかったことと、各産地で発芽期以降の防除が徹底されていたためと考えられた。

### (3) 黒点病

前期型病斑の発生は平年より多く、後期型病斑は平年に比べやや多い発生であった。前期型病斑の発生が多かった要因として、梅雨期前半の降水量は平年並であったが、7月上旬に集中的な降雨があったため平年より多い降雨があり、産地によっては薬剤の効果切れにより本病原菌の感染が多かったと思われる。また、後期型病斑の感染時期である9月は上旬に降水量がやや多く、その後も定期的に降雨があったことから、いずれの産地においても後期感染型が発生していた。9月上旬以降の降雨状況に即して実施すべき薬剤散布が不足していた園地が多かったものと考えられた。

### (4) 灰色かび病

被害果率、被害度共に平年よりやや少ない発生であった。5月中旬の降雨が少なかったためと考えられる。

### (5) チャノキイロアザミウマ

果梗部、果頂部の被害はともに平年に比べやや少なかった。4月中旬～7月上旬の降水量が全般的に多かったため本虫の発生が抑えられ、果梗部の被害果がやや少なかったものと考えられた。また、9月上旬以降も周期的に降雨があり、本虫の発生が抑えられ果頂部の被害が少なかったものと考えられた。

### (6) ミカンハダニ

被害果率および被害程度は地域差が大きく、県平均は平年と比べ高かった。8月以降の病害虫防除所による巡回調査時の発生圃場率および寄生葉率は平年並～平年より低い値であったが、生産者によっては薬剤防除が不十分のため果実への加害が多かったと考えられた。

### (7) カイガラムシ類（アカマルカイガラムシ、ナシマルカイガラムシ、ヤノネカイガラムシ）

アカマルカイガラムシの被害果は平年と同程度であった。ナシマルカイガラムシおよびヤノネカイガラムシは認められなかった。

### (8) ハナアザミウマ等

被害果率、被害度は平年より高かった。9月上旬から11月上旬まで降水量は10月中旬を除いて平年並～多であり、本虫の増殖に好適な気象条件ではなかった。しかし、本年はカメムシ類の飛来量が少なく、防除圧が例年より少なかったため、本虫の被害が増加したものと考えられた。

平成30年度温州みかん果実の病虫害発生状況調査

地区名	調査項目	かいよう病	そうか病	黒点病		灰色かび病	すす病	チャノキロ		ハナアザミウマ	ハダニ	アカマルカイガラムシ	ナシマルカイガラムシ	ヤノネカイガラムシ	訪花性害虫	サビダニ	カメムシ	風ずれ	薬害	その他
				前期	後期			果梗	果頂											
諫早市	被害果率(%)	0	0	89.7	47.8	6.3	0	6.5	11.8	2.5	27.0	3.3	0	0	0.2	0	0	28.2	0	0
	被害度	0	0	36.6	16.5	1.2	0	1.7	2.5	0.6	9.7	0.6	0	0	0.03	0	0	8.2	0	0
西海市	被害果率(%)	0	0.2	4.8	13.8	6.8	0	1.2	1.7	2.3	3.0	0	0	0	0	0	0	55.5	0	1.2
	被害度	0	0.02	1.0	2.2	1.1	0	0.3	0.2	0.3	0.6	0	0	0	0	0	0	10.3	0	0.2
大村市	被害果率(%)	0	0	18.7	45.3	2.8	0	4.0	4.8	1.3	5.5	2.0	0	0	0	0	0	63.8	0	0
	被害度	0	0	4.5	9.5	0.5	0	0.6	0.8	0.3	0.97	0.3	0	0	0	0	0	11.8	0	0
雲仙市	被害果率(%)	0	0	0.8	37.2	0.7	0	3.3	0.8	3.7	0	3.0	0	0	0	0	0	48.8	0	0
	被害度	0	0	0.17	7.9	0.1	0	0.6	0.2	0.8	0	0.6	0	0	0	0	0	8.8	0	0
佐世保市	被害果率(%)	0	0	0	13.0	1.7	0	0	0.3	0	0	0	0	0	0	0	0	59.8	0	1.7
	被害度	0	0	0	2.0	0.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10.6	0	0.28
県平均	被害果率(%)	0	0.07	22.8	31.4	3.7	0.1	3.0	3.9	2.00	7.13	1.7	0	0	0.1	0	0	51.2	0	0.6
	被害度	0	0.01	8.4	7.6	0.6	0.01	0.6	0.8	0.4	2.2	0.3	0	0	0.02	0	0	9.9	0	0.1
平年値 (H20~29 平均)	被害果率(%)	0.2	0.08	9.6	26.5	9.7	0.7	6.1	7.2	0.5	0.8	1.9	0.2	0.2	0.99	0.2	0.06	38.1	0.2	0.5
	被害度	0.06	0.02	2.4	6.3	2.1	0.13	1.3	1.3	0.11	0.2	0.6	0.08	0.07	0.2	0.04	0.01	8.5	0.03	0.1

A:被害が著しく目立つもの B:被害が目立つもの C:被害がやや多く見られるもの D:被害が散見されるもの

\*被害度 
$$= \frac{7A+5B+3C+D}{7 \times \text{調査葉(果)数}} \times 100$$